

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

ロングスパン 脱着ブラケット

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



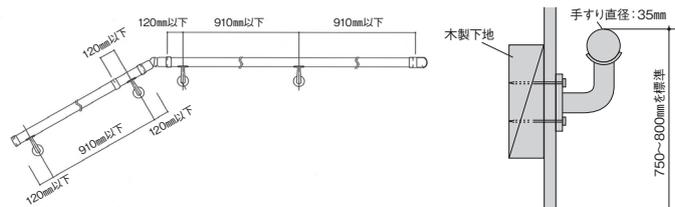
注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



危険!

- ・柱・間柱・胴縁などの堅固な下地があることを確認してご使用ください。
- ・下地がない、壁面が堅固でない、平面でない、などの場所に取り付ける場合は 補強材を下地に固定した上に取り付けてご使用ください。
- ・屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- ・ブラケット等の手すり受け金具は、手すりが折れないように910mm以内での間隔で取り付けてください。
- ・910mmより広いピッチでご使用する場合は当社指定のロングスパン手摺(脱着式)をご使用ください。
- ・フリージョイントなどの接続金具をご使用する場合は両側120mm以内にブラケット等の手すりを取り付けてください。
- ・階段などの傾斜部にはご使用できません。



警告!

- ・指定の固定方法で取り付けてください。
- ・指定の下穴をあけてご使用ください。
- ・φ35mmの丸棒手すり以外にはご使用できません。
- ・取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- ・万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。
- ・外開き部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
- ・この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
- ・ケガ・床の破損・部品の破損の原因になりますので、手すり棒の落下等には十分ご注意ください。

注意!

- ・手すりは路面から750~800mmの高さに取り付けてください。
- ・ドアのハンドルなどと干渉する場合は、壁にブラケットベース材を取り付けてブラケットの出寸法を調整してください。

施工終了後

養生

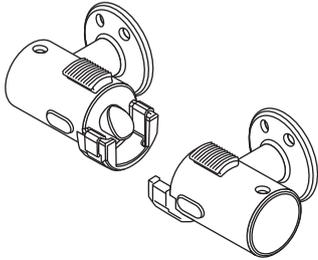
当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

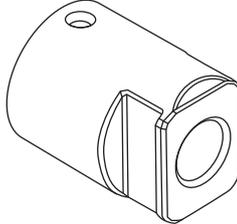
製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

梱包内訳表	部品名称	数量	部品名称	数量
	受側ブラケット(右勝手)	各1セット	スペーサー	2個
	受側ブラケット(左勝手)	各1セット	ブラケット取付けねじ(⊕丸皿タッピンねじ3.5×40)	8本
	キャッチソケット	2個	手すり取付けねじ(⊕丸皿タッピンねじ3.5×20)	8本
	エンドキャップ	2個	金属手すり取付けねじ(⊕皿ドリルねじ3.5×19)	4本
	φ32アダプター	4個		

①受側ブラケット
左右1セット



②キャッチソケット



③エンドキャップ

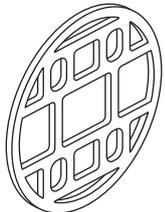


④φ32アダプター



※出荷時は受側ブラケット、キャッチソケットにセットされていますので取りはずしてください。

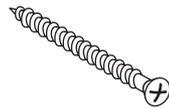
⑤スペーサー 厚さ2.5mm



※壁から手摺センターまでの距離を55mmにする為に必ずご使用ください。

⑥ブラケット取付けねじ

※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。



⊕丸皿タッピンねじ3.5×40

⑦手すり取付けねじ

※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。



⊕丸皿タッピンねじ3.5×20

⑧金属手すり取付けねじ

※ロングスパン手摺(脱着式)専用

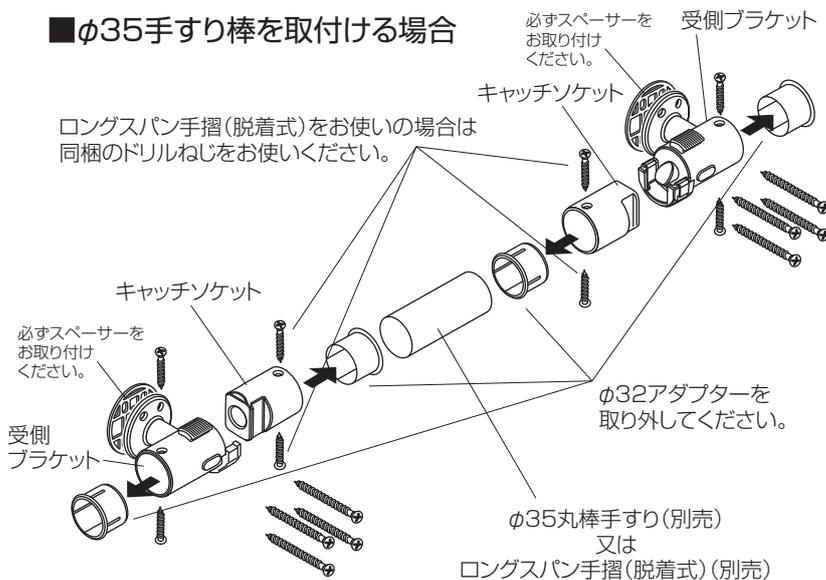


⊕皿ドリルねじ3.5×19

施工手順

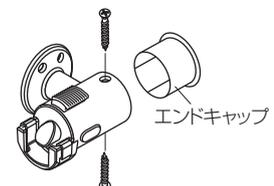
■φ35手すり棒を取付ける場合

ロングスパン手摺(脱着式)をお使いの場合は同梱のドリルねじをお使いください。



■連続手すりとして使用されない場合

●エンドキャップの脱落防止のため、必ずねじ止めしてください。

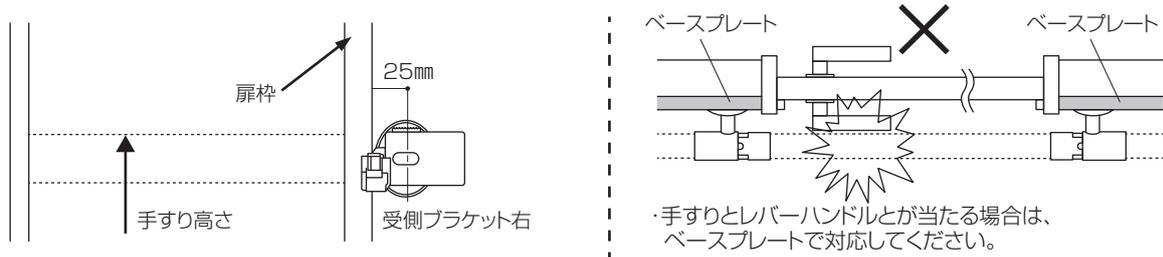


1.片方の受側ブラケットを取付けます。(説明では右を先に付けます)

扉枠からブラケットのセンターピッチで25mm以上取ってください。

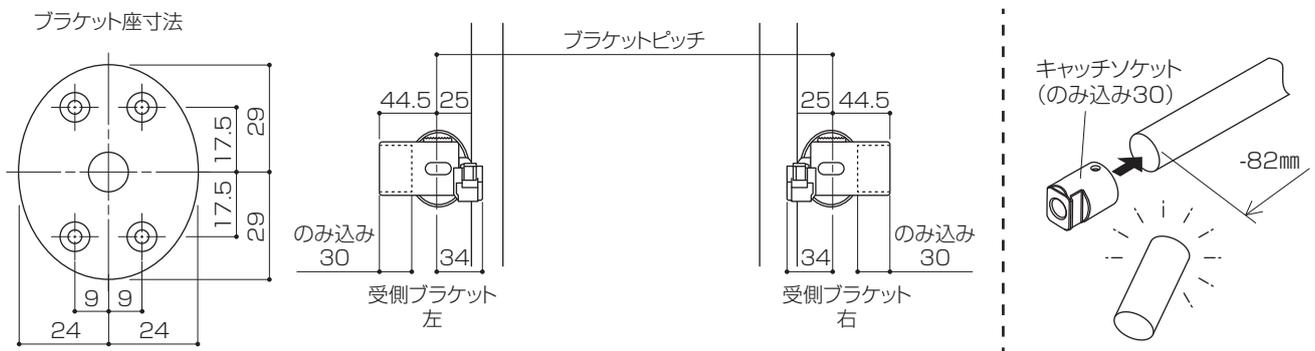
レバーハンドルなどに丸棒手すりがかかる場合は別途ベースプレートで対応ください。

注)廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



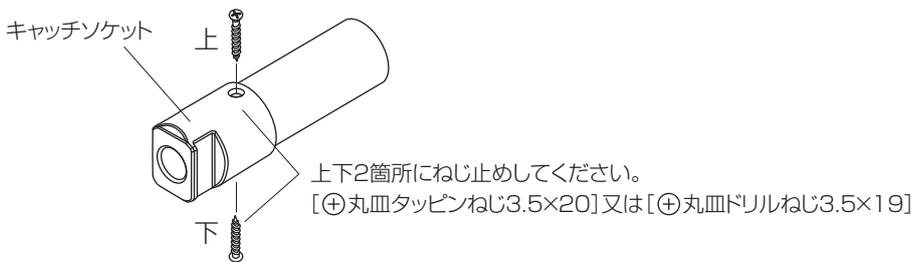
2.ブラケットピッチを決めて丸棒手すりをカットします。

丸棒手すり長さ=支柱ピッチから、-82mmカットします。



3.片方のキャッチソケットを差し込み、丸棒手すりとねじ止めしてください。

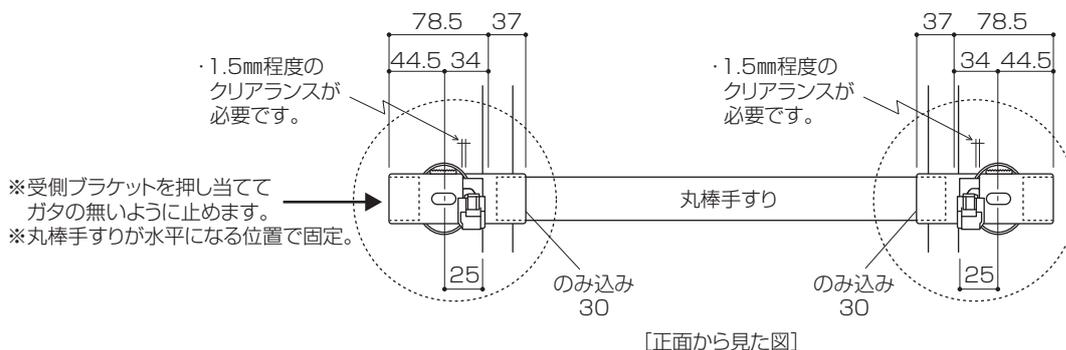
(ロングスパン手摺(脱着式)の場合はドリルねじを使用してください。)



4.左側の受側ブラケットを取付けます。

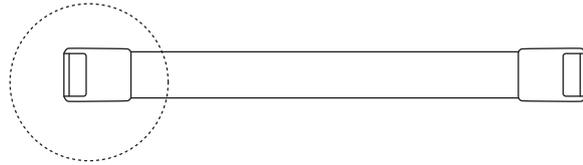
もう片方のキャッチソケットを丸棒手すりに差し込み、両端を受側ブラケットにセットして丸棒手すりが水平になる位置で、先に受側ブラケットをねじ止めします。

注)両側の受側ブラケットの上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。



5. 受側ブラケットを取付けた後、キャッチソケットをねじ止めします。

キャッチソケットの固定位置を
左右対称に止める。



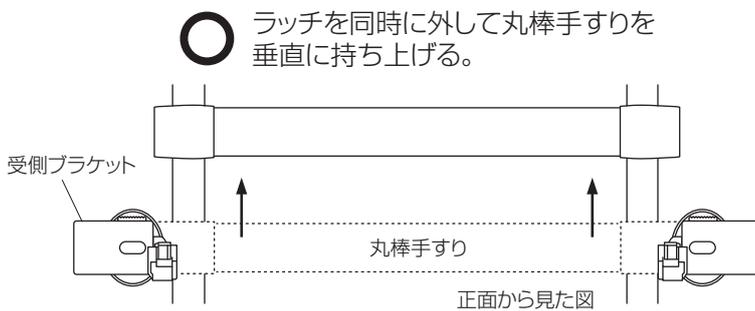
6. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行なってください。

使用上の注意

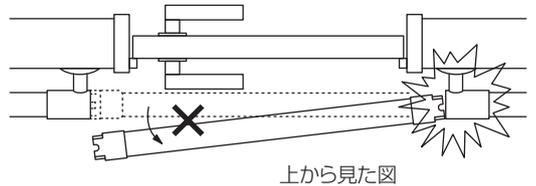
■ 丸棒手すりの取外しは、両側のツマミをスライドさせ、ラッチを解除してから垂直に持ち上げてください。

注) 両側同時にラッチ解除する場合: ラッチを両側同時に解除して丸棒手すりを垂直に持ち上げてください。

注) 片側ずつラッチ解除する場合: 一方のラッチが掛かったまま、ラッチ解除した側の丸棒手すり先端を、垂直方向以外に動かさないでください。ブラケット破損につながります。



✕ 丸棒手すりを床面から垂直方向以外に動かす。



※商品の仕様は予告なく変更する場合があります。